

国道118号松塚バイパスにおいて 東北自動車道直下を横断する函渠工を施工しています

国道118号松塚バイパスの東北自動車道直下を横断する函渠工（アンダーボックス）について、平成25年4月に本体工事に着工し、現在鋭意施工中です。

【具体的内容】

国道118号は、水戸市を起点として、須賀川市を經由し会津若松市に至る延長約209kmの道路であり、本県では、中通りと会津地方を結ぶ地域間を連携する道路であるとともに、「福島県復興計画」に位置付けられている重要な幹線道路です。

松塚バイパス(延長約3.4km)は、現在の国道の線形不良区間の回避により、合併した須賀川市の地域間の連携強化や、福島空港、東北自動車道須賀川ICへのアクセス性の向上を図ることを目的に、平成20年度に事業に着手しました。

このバイパスの主要な構造物である東北自動車道直下を横断する函渠工については、4月に本体工事に着工し、現在鋭意施工中です。

県では引き続き平成27年度末の全線開通に向け、事業を推進してまいります。

【国道118号松塚バイパス事業概要】

全体延長 L=3.4km（うち1工区(鏡石町)延長約1.5km）
（うち2工区(須賀川市)延長約1.9km）

計画道路幅員 W=6.5(10.5)m

主な構造物 東北自動車道直下横断函渠（施工中）

※ 横断函渠は、HEP(High speed Element Pull) & JES(Jointed Element Structure)工法という特殊工法で施工しています。

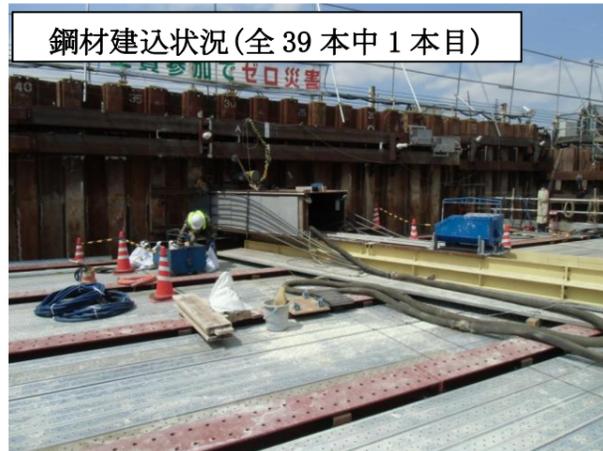
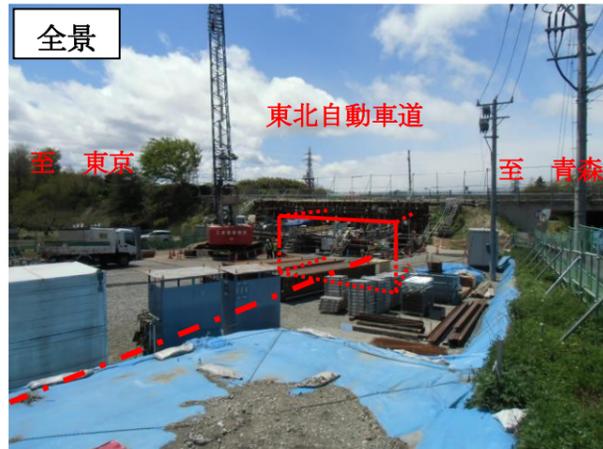
その他の構造物 (仮称)松塚1号橋(今後施工)

(仮称)松塚2号橋(今後施工)

松塚バイパス位置図



東北自動車道アンダーボックス状況写真



HEP & JES工法

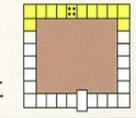
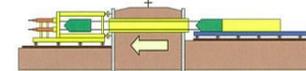
■ 施工順序

■ : 施工中 ■ : 施工済み

STEP.1

基準エレメント
・上床版～側壁 1 本目エレメント工

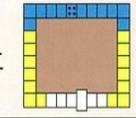
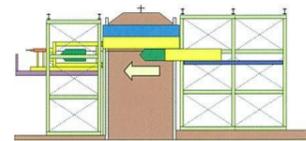
- ① 発進・到達架台の組立
- ② 水平ボーリング工
- ③ 基準エレメント (口の字形) けん引掘進
- ④ 一般部エレメント (コの字形) けん引掘進
- ⑤ 裏込注入・継手グラウト充填
- ⑥ 中詰コンクリートの充填



STEP.2

側壁部 2 本目～足付けエレメント工

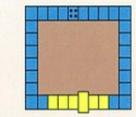
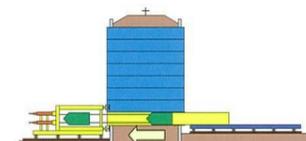
- ① 立坑掘削・昇降架台設置
- ② 一般部エレメントけん引掘進
- ③ 裏込注入・継手グラウト充填
- ④ 中詰コンクリートの充填



STEP.3

下床版エレメント
・調整エレメント工

- ① 一般部エレメントけん引掘進
- ② 調整エレメントけん引掘進
- ③ 裏込注入
- ④ 調整エレメント鉄筋かご挿入
- ⑤ 継手グラウト充填
- ⑥ 中詰コンクリートの充填



STEP.4

施工完了

- ① 構築内掘削
- ② 施工完了

